第五十八回
日本舞踊協会公演

現代を代表する日本舞踊家が流派を超えて共演する第五十八回日本舞踊協会公演。古典舞踊の名作、大作、上演機会の少ない珍しい演目や上方舞、見ごたえのある群舞など日本舞踊のさまざまな姿をご覧に入れます。

今回は、二十日夜の部で、明治時代の演劇革新に大きな影響を与えた坪内逍遥の作品集を上演するほか、二代目花柳壽輔振付の「酔奴」、初代尾上菊之丞振付の「熊野」、西川鯉三郎振付の「野崎の春」などの名作に加え、「新曲浦島」、「鉢かづき姫」、「橡の木」、「切支丹道成寺」などを新振付で上演します。

日本舞踊の愛好家の方から初めてご覧になる方までお楽しみいただける公演です。

この機会に是非ご鑑賞ください。

二月二十日(金)〈夜の部〉午後四時半開演

一、長唄「新曲浦島」
吾妻豊太郎　花柳昌克
花柳貴柏　藤間章吾
花柳寿美蔵　藤間仁凰
花柳達真　藤間達也
花柳登貴太朗　若柳吉央

二、長唄「鉢かづき姫」
姫宰相　水木扇升
太郎冠者　西川清三郎
次郎冠者　西川扇重郎
西川扇衛仁

三、常磐津「お夏狂乱」
お夏　吾妻徳穂
馬士　花柳昌太朗

四、長唄「お七吉三」
お七　市川ぼたん
吉三　花ノ本海

五、常磐津「良寛と子守」
良寛　藤間章作
子守およし　泉蓉
村男甚六　坂東百々三

二月二十一日(土)〈昼の部〉正午開演

一、長唄「橡の木」（録音再生）
コロス　五條詠絹　花柳美輝風
花柳喜衛文　五條珠雀　藤蔭静千華
花柳古史加　藤蔭静寿
花柳寿保美　藤間京之助湖
花柳輔瑞佳　藤間藤椛
花柳寿美琴音　藤間眞白
花柳時寿京　藤間蘭翔

二、清元「野崎の春」
久松　西川扇左衛門
お光　花柳ツル
お染　藤間爽子

三、長唄「船橋」
里の男　花柳寿楽
里の女　吾妻寛穂
山伏　花柳寿太一郎

四、義太夫「酔奴」
奴　花柳輔太朗

五、清元「熊野」
宗盛　尾上墨雪
熊野　藤間藤太郎

二月二十一日(土)〈夜の部〉午後四時半開演

一、長唄「朝比奈三番叟」
工藤祐経　若柳壽延
大姫　坂東幸奈
朝比奈力者　西川箕乃助
若柳吉優亮
藤間豊彦

二、清元「幻椀久」
椀屋久兵衛　藤間蘭黄
松山太夫　尾上紫
菊市　旭七彦

三、長唄「南蛮哀慕」
新造　西川中晶
花柳幸舞　藤間秀曄
音若　柳美香康

四、清元「江戸の賑い」
丸山の遊女　花柳寿美
パテレン　花柳典幸

五、常磐津長唄「男女道成寺」
花子　藤間猿清友
狂言師　花柳恵都子基
所化　五條珠太郎　西川一右　藤間仁凰　花柳輔貴柏　藤間豊彦　花柳寿々彦　藤間直三　若柳匠祐助　藤蔵宏
花柳登貴太朗　若柳三十郎

二月二十二日(日)〈昼の部〉正午開演

一、長唄「鶯宿梅」
梅　若柳庸子
鶯　若柳里次朗
烏　西川大樹

二、清元「雪振袖山姥」
山姥　藤間洋子
坂田金時　花柳翫一
山賊　坂東扇弘
坂東扇輔

三、長唄「座敷舞道成寺」
山村友五郎

四、清元「髪梳き曽我」
十郎　若柳宗樹
大磯の虎　藤蔭静枝

五、長唄「孫悟空」（録音再生）
孫悟空　西川扇与一
猪八戒　藤間仁章
沙悟浄　松島金昇
三蔵法師　五條珠實
大王　若柳彦三衛門
観世音　西川扇千代

村人ほか　五條詠佳　花柳奈卯女
花柳和あやき　坂東冨起子
花柳錦翠　藤間紫乃弥
花柳寿美華　藤蔭静枝
若柳惠華

二月二十二日(日)〈夜の部〉午後四時半開演

一、長唄「都風流」
吾妻節穂
花柳眞理子

二、新曲「切支丹道成寺」（録音再生）
朝子　水木佑歌
秋月ジョアン　若柳吉蔵
パアデレ　松風光陽
コロス　五條珠太郎　花柳寿々彦
花柳昌鳳生　藤間直三

三、清元「幻お七」
お七　中村梅彌

四、清元「りゅうたつ」
橘芳慧

五、常磐津「どんつく」
どんつく　坂東勝友
太夫　市山松扇
太鼓打ち　若柳吉優
白酒売　坂東三津映
芸者　坂東波瑠加
半玉　坂東里子
子守　若柳薫子
田舎侍　花柳輔蔵
幇間　坂東三信之輔
大工　市山松翁